

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2004-199654(P2004-199654A)

【公開日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【年通号数】公開・登録公報2004-027

【出願番号】特願2003-355115(P2003-355115)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/50 6 1 0 A

G 0 6 F 17/50 6 2 4 E

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月7日(2008.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

3 D モデルの出力の処理が選択されたことを判断する判断手段と、
前記 3 D モデルのデータの画像処理が設定されたモードを前記 3 D モデルの出力の処理に対応してそれぞれ記憶する記憶手段と、
前記記憶手段によって記憶されたモードのうち、前記判断手段による 3 D モデルの出力の処理の選択に対応するモードを設定する設定手段とを有することを特徴とする 3 D C A D 装置。

【請求項 2】

請求項 1 において、前記画像処理は、前記 3 D モデルの面の色相、明度、彩度、前記 3 D モデルの稜線の色、背景色、およびグラデーションの有無のうち少なくとも 1 つの画像処理を含むことを有することを特徴とする 3 D C A D 装置。

【請求項 3】

請求項 1 において、前記判断手段によって投影装置による出力の処理であることが判断された場合、前記設定手段は、前記 3 D モデルの面の彩度を高くするモードに設定することを特徴とする 3 D C A D 装置。

【請求項 4】

請求項 1 において、前記判断手段によってプリンタによる出力の処理であることが判断された場合、前記設定手段は、前記 3 D モデルの面のグラデーション処理が実行されるモードに設定することを特徴とする 3 D C A D 装置。

【請求項 5】

3 D モデルの出力の処理が選択されたことを判断する判断ステップと、
前記 3 D モデルの出力の処理に対応して前記 3 D モデルのデータの画像処理が設定されたモードが記憶されたテーブルの中から、前記判断ステップにおいて判断された 3 D モデルの出力の処理に対応するモードに設定する設定ステップとを有することを特徴とする 3 D モデルの出力方法。

【請求項 6】

請求項 5 において、前記画像処理は、前記 3 D モデルの面の色相、明度、彩度、前記 3 D モデルの稜線の色、背景色、およびグラデーションの有無のうち少なくとも 1 つの画像

処理を含むことを有することを特徴とする３Ｄモデルの出力方法。

【請求項 ７】

請求項 ５において、投影装置による出力の処理が選択された場合、前記３Ｄモデルの面の彩度を高くするモードに設定することを特徴とする３Ｄモデルの出力方法。

【請求項 ８】

請求項 ５において、プリンタによる出力の処理が選択された場合、前記３Ｄモデルの面のグラデーション処理が実行されるモードに設定することを特徴とする３Ｄモデルの出力方法。

【請求項 ９】

請求項 ５ないし請求項 ８に記載の３Ｄモデルの出力方法を実行するためのプログラム。

【手続補正 ２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

３Ｄモデルの出力の処理が選択されたことを判断する判断手段と、前記３Ｄモデルのデータの画像処理が設定されたモードを前記３Ｄモデルの出力の処理に対応してそれぞれ記憶する記憶手段と、前記記憶手段によって記憶されたモードのうち、前記判断手段による３Ｄモデルの出力の処理の選択に対応するモードを設定する設定手段とを有することを特徴とする３ＤＣＡＤ装置を提供する。